



# 友達になろう

## BE A FRIEND

1994—95年度国際ロータリーのテーマ

- 国際ロータリー会長 ビル・ハントレー ●第2560地区ガバナー 大島 精次
- 会長——高橋 一夫 ●副会長——石橋 育於
- 幹事——五十嵐晋三 ●副幹事——松谷 晃吉
- SAA——平原 信行 ●副SAA——清水 良一 ●例会日——毎週水曜日 12:30～
- 例会場——三条市旭町2-5-10 三条信用金庫本店 TEL 34-3311
- 事務局——三条市旭町2-5-10 三条信用金庫本店 TEL 35-3477  
FAX 32-7095

**出席者会員数**

会員 79名中 57名

**先々週出席率**

91.78% (前年同期 87.01%)

**ヴィジター**

三木みどりより 藤本晏夫さん

**先週のメイクアップ**

11/16 新潟南へ 捧 賢一さん

11/17 加茂へ 渡辺宏策さん

11/21 三条南へ 五十嵐総一さん、古沢富雄さん、近藤雄介さん

11/22 三条北へ 藤田紘一さん

11/26 ローターアクト年次大会へ

高橋一夫さん、五十嵐晋三さん、石橋育於さん、五十嵐寿一さん、  
佐久間勝敏さん、平原信行さん

11/28 三条南へ 古沢富雄さん、宇瑠間一知さん

11/29 三条北へ 田中 昭さん

11/29 田上あじさいへ 野村竹三郎さん

会長挨拶

高橋(一)会長

皆さんこんにちは。

今日は三木から藤本さんよくいらっしゃいました。私はいちじくが好きです。それで7、8年前にいちじくの木を庭に植えました。最近はそのいちじくが食べられるようになりました。それが大変です。毎日鳥との競走です。

私があすの朝、食べ頃かなと思っていると彼らに食べられてしまいます。(ですからちょっとはやめに食べないと)

私はどうして鳥が食べ頃を知ることかふしぎに思っていました。ところが月曜日のNHK「昆虫の情報」を見てわかったような気がしました。昆虫の目には密の色は緑にうつるのだそうです。木実が熟したとき空を飛んでいる鳥に私たちが感じられないサインがだされているのではないのでしょうかと思いました。

外国とのつきあいでも文化や宗教が違うとお互いに変わった色に見えるのかも知れません。

幹事報告

五十嵐(晋)幹事

◎例会変更のお知らせ!

三条南RC—12月19日(月) 忘年家族会 PM6:30~ 於VIP

三条北RC—12月20日(火) クリスマスパティー PM6:30~ 於おまの

◎分水RCより 事務所移転のご案内がとどいております。

新住所 分水町大字地藏堂2036

◎三条ローターアクトクラブより

長久の家とのもちつき大会のご案内がとどいております。

とき 12月8日(木) PM7:30~

ところ 長久の家

12月のお祝い

◎会員誕生祝 1日 内山裕一さん 4日 上木六治さん 10日 広岡豊作さん  
12日 鈴木宗資さん 16日 小林九満太さん 24日 高橋政志さん  
29日 佐藤吉平さん

◎夫人誕生祝 11日 清水節子さん(良一) 18日 荻根沢愛子さん(隆雄)  
18日 菊池まゆみさん(渉) 25日 山浦美枝子さん(日出夫)  
25日 佐藤成子さん(武)

◎結婚記念祝 4日 渋谷健一さん 12日 内山辰策さん

◎100%出席賞(12ヶ月) 18年 渡辺宏策さん

◎100%出席賞(6ヶ月) 荻根沢隆雄さん 小柳直人さん 佐藤吉平さん

ニコニコBOX ¥15,000

11月30日分

- 高橋(一)さん 13~21日の貿振のベトナム旅行大変楽しい有意義な旅でした。
- 石橋さん 都合により早退させていただきます。
- 鈴木さん 貿易振興会の一員に加えて頂き、ベトナム、タイ国の旅を楽しんで参りました。
- 五十嵐(力)さん 11月13日から21日まで9日間三条貿易振興会海外市場視察でベトナム、タイへ行って来ました。
- 斎藤(弘)さん 三条貿易振興会のベトナム、タイへの視察旅行に参加致しました。その時、鈴木会頭、五十嵐団長、高橋一夫様、金澤興宗様、渡辺喜彦様に大変お世話様になりました。
- 五十嵐(昭)さん 三条の経済関連の人々とベトナムへ行って来ました。発展しつつある姿を見て今後の参考になりました。
- 平原(信)さん ローターアクト年次大会に参加させていただき帰りは五十嵐アクト委員長より、おくっていただきました。
- 榎本さん 久しぶりにホームクラブへ出席しました。先般愛車で四国、中国地方10県の県庁を廻って来ました走行距離2,990km。
- 金澤さん 海外出張で久しぶりの出席です。休みが多くてすみません。
- 瀬下さん この季節こんな良い天気はめったにありません。気分は最高です。
- 内山(昭)さん 早退させていただきます。
- 佐藤(吉)さん 早退させていただきます。

ロータリー財団への寄付金

- 高橋(一)さん 委員長さん御苦勞様です。大勢の皆さん方の御協力のあることをイノります。

卓話

滝沢富雄会員

今日私の話は、平成4年4月に48年前インドのインパール作戦で「コヒマ」の山野に国家の前途に幸あれと散って行った戦友の霊をなぐさめ安らかに、成佛して頂く事が我々生き永らえた同志の願ではないかと思い、インド戦跡慰霊巡拝の旅に参加した時の様子を思い出しながら話したいと思います。

発起人西山町の住職である小池真竜戦友の企画に賛同し参加を申込みました。参加者名簿を見ると、かつての



戦友が十数名おられ総員30名内遺族4名の参加であった。此のインドのコヒマは数多くの将兵の犠牲者を残して来た激戦の地であり英霊巡拝に参加する事は大変意義の有る事で三条から戦友の横山メツキ社長とご遺族で須頃の清水昭太郎さんと私の3名であった。

九日間の旅行で4月18日現地時間19時30分カルカッタ空港に着陸した。ホテルは大変お粗末な汚いホテルであった。同室の清水さんと交替でシャワーを浴びた後で内地より持参した日本酒と魚の缶詰で少々飲みながら日本のホテルとは比較の出来ない有様に此の先が思いやられる不安と心配のインドでの第一夜でありました。

翌早朝カルカッタ空港を出発し、途中雷雨を伴う悪天候に合ったが無事目的地インパール空港に着陸する事が出来た。空港には亀山会長の知人の現地人で好日的なラジャンカクタさんが出迎えてくれました。

世情が悪いのか自動小銃を持った大勢の兵隊が警備に当って居り自由行動も取れない不気味な雰囲気の中不安な気持ちで待って居た。漸くバスでインパールのホテルに到着した。昼食の後バスにて当時「弓」部隊の激戦の地二九二六高地に到着、「弓」部隊が山麓に立派な日本軍戦没者の慰霊碑を建立した場所で訪問初回の慰霊祭を行った。二九二六高地はインパール南々西15kmで多大な戦死者を出した事から「赤い血の丘(レッドブランクヒル)」と呼ばれている。現地の住民はなんとなく日本人に似た顔で親しみを感じ、又慰霊碑に毎日お祈りを捧げて居るとの事でした。ほんとに有難たい事です。

次はビシンプールを経由モイランのインド独立運動の立役者でインド国民軍の創始者である有名なチャンドラボーズ記念館を見学する。中には旧日本軍の三八式歩兵銃や帯剣小銃弾等日本兵が山野に残した物を集め陳列して有った、他にも独立運動家として日本にも来日して東條英機と親交の有った数々の写真や文書などが陳列されてあった。チャンドラボーズの偉大な人物像を知る事が出来た。

しかし懸案であるコヒマ行の許可は未だ出ておらず引続き交渉中との事であり、翌20日はサンジャック行と決定した。ホテルにて内地より持参した日本酒やらウイスキーを飲み当時の事を語り合った。翌朝の食事は、辛い料理であったが食べないと体が持たないと思いき無理して食べるような始末であった。

今日はウクルル、サンジャックに向う。行き交う定期バスは屋根迄大勢の乗客を乗せて走って居た。途中インド国民軍の武装した大部隊が私達のバスを追越して行き不気味な感じであった。

48年前此の部落は私達高田58連隊がウクルル部落の敵と遭遇し敵英軍と激戦となり58連隊の将兵の戦死傷者500名にも及ぶ多くの犠牲者を出した悲しい思い出の有る部落で今尚、当時戦死された20歳代の戦友が各所に埋没されて居ると思うと目頭が熱くなる思いでした。48年も前の事で捜す術も無い状況でした。小高い丘の上に有る教会前に用意して持参した慰霊祭壇を全員でつくり内地よりの米、水、菓子、タバコ、日本酒等とローソク、線香を

灯し、小池導師に依る讀経に全員が合掌し亡き戦友のご冥福をお祈り申上げました。回りには多くの原住民の老若男女が此の様子を見守って居り、子供達には内地より、持参した鉛筆、ボールペン、消しゴム等を分け与え祭壇のお供物は部落の長老の世話人に一任した。部落の住民はなんとなく日本人に似た風貌で親しみやすく部落民に見送られ心残であったが時間の都合で部落を後にした。

巡拝団が一番行きたい場所コヒマは政情不安で入域が非常に難しく添乗員はじめ地元関係者一同が八方手をつくしお願いした結果夜9時30分頃漸く許可書が届いたが、コヒマへの入域は日帰の条件付であった。兎に角一番望んで居たコヒマの入域が日帰とはいいい、出来る事に成り全員が大喜びであった。

翌早朝かつての激戦地コヒマに向って出発した。戦友一同は念願が叶いコヒマに行ける事で心無しか皆、明るい顔であった。バスは数ヶ所の検問所を通過、途中州境の町セナパティの検問所で30分程停車させられ、銃を持った兵隊2名がバスに同乗した。監視が目的らしいと通訳の話しであり、途中インド兵隊がジープで移動して居るのに出合った。目に付くものは焼畑や千枚田で48年前此の路を徒歩で進撃して行った当時の事を思い出しながら遠い異境の地である事を感じた。

難険路をしかも40kgを越える装備を背負い徒歩での行軍で比んな遠い地まで愚痴一つこぼさず頑張ってきたのは、20代と若いせいも有ったのと軍規のきびしさであったのではないかと思った。

バスは走る約5時間漸くコヒマ市内に着いた。テニスコート程の台地の櫻の木の下で祭壇を設け慰霊祭を執り行なう。祖国より持参の水、米、酒、タバコ、菓子等をお供えし各中隊の卒塔婆を立てローソクや線香を灯した。慰霊祭は、先ず国歌斉唱に始まり、導師小池様、平山様に依り荘厳に且厳粛に執り行われた。全員が一生懸命にこの地にねむる亡き戦友のご冥福をお祈り申上げました。戦友一同の心と気持がご慰霊にお届け出来た事と拝察し感激も又ひとしおであった。

お供物は全て亀山会長の友人であるコヒマの3人娘に渡し最善の処理をお願いした。ここの英軍基地は見事に整備されて、美しい公園になっており現地人の手に依り千数百の墓が列んで居た。立派な記念碑には「祖国の人よ、君が故郷に帰ったら故郷の人々に伝えてほしい。君達の明日の為に、生命を捧げた自分達のことを」と書かれている。この心を打つ言葉は、そっくりそのまま日本兵の心に当てはめる事が出来るのだと思った。敗れた日本兵にはかなしい事に慰霊碑も墓も無い。亡き多くの戦友の霊は、今尚コヒマの山野に埋没されて居る事を思うと目頭があつくなる思いでひたすらご冥福を祈るのみでした。

コヒマとの別れはご慰霊との別れでも有った事で戦友一同は後髪を引かれる思いでした。コヒマ慰霊巡拝の旅の悲願が時間的に短かったが達せられた安堵感で満ちあふれた心境であった。バスは日の有る内に州境を越えなければならない、州境でインド兵を降し皆疲れ

が出たのか無口となった。夜遅く到着したホテルにて遅い夕食を取り持参の酒を酌み交わし懐かしいコヒマの話で盛り上がった。

何処へ行っても生水は飲む事が出来ず食事も美味しく無く停電に悩まされ、お湯が出ない。にごった水でのシャワーのみで発展途上国の旅は文明に馴れた我々には我慢と苦痛の連続で有った。日本の有難さ祖国の尊さが身にしみ、亡き戦友達のお陰で今日の幸せに、浴して居る我が身を再確認したインド戦跡慰霊巡拝の旅でありました。

生き残りの戦友会で募金を集めコヒマの教会建設資金700万円寄附

桜苗木 100本

ユースホステル建設資金 300万円寄附

インパール慰霊碑竣工 2926高地附近

※ 頁数の都合で一部割愛させて頂きました。

|       |          |            |               |
|-------|----------|------------|---------------|
| 三条RC  | 12月7日例会  | 卓話         | 中村和彦会員        |
|       | 12月14日例会 | 卓話         | 荻野保和会員        |
|       | 12月21日例会 | 夫人同伴忘年会    | PM6:30~ 於 松木屋 |
| 三条南RC | 12月12日例会 | 卓話         | 草野恒輔会員        |
|       | 12月19日例会 | 忘年家族会      | PM6:30~ 於 VIP |
|       | 12月26日例会 | 卓話         | 橋本和雄会員        |
| 三条北RC | 12月13日例会 | 卓話         | 長谷川恵慈会員       |
|       | 12月20日例会 | クリスマスパーティー | PM6:30~ 於 おくの |
|       | 12月27日例会 | 卓話         | 吉川吉彦会員        |